# インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

新 聞

毎 日

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

www.gaido

vol.209・2月28日号 毎週木曜発行 4面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-32-3909

- ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
- ●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部



#### 素敵な人

地域密着の環境活動を推進する NPO 法人「蒲生野考現倶楽部」の総合プロ デューサー・井阪尚司さんが今回の素 ででです。 敵な人。日野町にある活動拠点の一つ 「しゃくなげ學校」でお話を伺った。

#### 地元の教師にあこがれて

井阪さんは生まれも育ちも日野町。周 囲に広がる豊かな自然に親しんで育っ た。大学卒業後は地元で教員として 働くことを希望したが、卒業した年に 募集がなかったため、地元の銀行に 就職。しかし「人を育てたい」という情 熱を捨てきれず、3年後に念願の教 員生活をスタートした。

## 水とのかかわり 子どもたちと考える

井阪さんが環境に関心を持ったのは、勤 務先の町立蒲生東小学校が環境教育実 践推進校に指定されたことがきつかけ。 蒲生野は昔からため池が多く、水が 身近にあった地域。井阪さんは薄れ ていく水とのかかわりを子どもたちに 考えてほしいと、生活排水の流れる溝 を調べる「ソレイケみぞっこ探検隊」を





開始した。始めたころは「そんな汚い ところにわざわざ入るの?」と首をかし げられたこともあったが、生き生きと した子どもたちの様子に大きな手応え を感じた。「溝に落ちていた空き缶を 拾おうとして、中にザリガニの赤ちゃ んが住んでいたことがありました。予 想外の出来事を目にして、子どもた ちは赤ちゃんのすみかを守るべきか、 空き缶を拾うべきか真剣に話し合い ました」と井阪さん。

1学年でスタートした「みぞっこ探検」 は、やがて学校全体に広がっていった。

## 世代を超えて参加できる 蒲生野考現倶楽部を設立

さらに学校の枠を超え、子どもから

お年寄りまで水に かかわってほしい と考えた井阪さん は、90(平成2)年、 地元の人や研究者 と共に蒲生野考現 倶楽部(以下倶楽 韓国の自然環境団体と

ホタルを通して身近な自然に目を向け る「ホタル観賞会」や、ため池について 学ぶ「ソレイケため池探偵団」、昔から 伝わる魚のつかみ取りを体験する「か いどり大作戦」などを展開していった。 こうした活動は 00(平成 12)年の環境庁 「水環境賞」受賞をはじめ、07(平成 19) 年は「全国地域づくり推進協議会長賞」 を受賞するなど高い評価を受けている。

倶楽部では、みぞっこ探検で見つけた

# 地域を知ることで 愛着が生まれる

現在、倶楽部のメンバーは幼児から 80代までの53人。5年前からは韓国 の自然環境団体との交流も始まった。

ん。皆がリトル東京を目指すのでなく、 古里を思う気持ちを伝えたい」と井阪 さん。05(平成17)年から教職を離れ、 県の環境学習支援センターで学校や NPOの環境活動を支援している。最 後に趣味を伺うと「環境活動。ほかに ないんです」。一途に打ち込む姿勢が 印象的だった。 (取材・山田、高井)

詳しくは♪www.gaido.jp/2091



#### NPO法人蒲生野考現倶楽部 事務局

●住所: 蒲生郡日野町奥之池896

● TEL: 0748-52-1398

E-MAIL: haguro@gamouno.com http://www.gamouno.com

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの 毎日新聞販売店からお届けしています。





お問合せは フリーダイヤル 👀 0120-333-

http://www.shukobuild.com/ | 秀光ビルド|